



「ゼロカーボンシティさい」



世界の平均気温は、産業革命以前の水準から約1℃上昇し、このまま気温が上昇し続ければ地球環境に深刻な影響を与えていると言われています。国においても、もはや地球温暖化問題は、気候変動の域を超えて気候危機の状況に立ち至っているとして、2020年11月、第203回国会において、「気候非常事態宣言」が決議されました。

気候変動の影響は、国内外の異常気象という形で表れており、我が国においては、近年の大雨災害の深刻化が物語っています。特に近隣自治体である8月9日に発生した「むつ市・風間浦村豪雨災害」では、土砂災害による国道の通行止めや橋の崩壊、家屋への土砂流入など大きな被害をもたらし、明日は我が身と感じたところです。

このような危機に対し、2021年4月、菅首相は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする目標を掲げ、2030年度の温室効果ガス削減目標について、従来の2013年度比26%減から46%減への引き上げを表明しました。この目標は、持続可能な地域を次世代に残すために、必ず達成しなければならない課題です。

佐井村では、自治体新電力会社の設立による再生可能エネルギーの導入や小水力発電の開発によるエネルギーの地産地消など、他地域に先駆けて持続可能な社会に向けた取り組みを進めています。

こうした取り組みには、住民の参画は不可欠であり、住民・事業者・行政が一丸となって資源循環のむらづくりを推進するとともに、脱炭素社会の実現に貢献するため、2050年までに村内の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言します。

令和3（2021）年10月4日

佐井村長

樋口香祝

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

